

上田市地球温暖化対策地域推進計画（案）【概要】

○趣旨、目的及び背景

近年、地球温暖化に起因すると考えられる異常気象や、それに伴う災害が激甚化・頻発化しています。今後、地球温暖化の進行によって、豪雨等の発生リスクはさらに高まることが予測されており、市民の安全・安心な暮らしや地域の自然資源を活用した観光業、農林水産業等をはじめとした多くの経済活動に影響を及ぼす可能性があります。

当市は、令和3年2月に「上田市気候非常事態宣言」にて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）の実現を目指すことを表明し、令和3年3月には、「上田市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、地球温暖化対策を推進してまいりました。

他方、令和3年10月に、国は「地球温暖化対策計画」を改定し、2030年度までに2013年度比で46%の温室効果ガス排出量を削減するという、従前の目標を上回る新たな削減目標が示されました。

こうした状況を踏まえ、上田市が将来世代にわたって持続的に発展し、市民生活の質を向上させていくためには、本市の強みを活かしながら、市民・事業者・行政が一丸となった地球温暖化対策をこれまで以上に推進し、ゼロカーボンシティの実現を目指していくことが必要です。

本計画は、2050年ゼロカーボンシティの実現を戦略的に推進するために、上田市の地球温暖化対策の目標や基本方針、取組等を定めたロードマップを示し、より一層の地球温暖化対策の推進を図ることを目的とします。

○ 計画の概要

1 削減目標

中期目標である2030年度までに、2013年度比で、温室効果ガス排出量の57%削減（最終エネルギー消費量43%削減、再生可能エネルギー5.8倍に増加）を目指します。

長期目標である2050年度には、温室効果ガス排出量の実質ゼロ（ゼロカーボン）の達成（最終エネルギー消費量77%削減、再生可能エネルギー13.0倍に増加）を目指します。

再生可能エネルギーで代替できないエネルギーの消費に伴う温室効果ガス排出量は、森林吸収で相殺することで、ゼロカーボンを実現します。

	中間目標（2030年度） (2013年度比)	長期目標（2050年度） (2013年度比)
温室効果ガス 削減目標	57% (669千t-CO ₂) 削減	温室効果ガス排出量 <u>実質ゼロ</u>
最終エネルギー消費量 削減目標	43% (7.1PJ) 削減	77% (12.7PJ) 削減
再生可能エネルギー 導入目標	5.8倍に増加 (1.3PJ 導入)	13.0倍に増加 (3.3PJ 導入)

2 計画の構成

第1章 計画の基本的事項

- 1 計画の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の基準年度及び目標年度
- 5 計画の対象

第2章 計画策定の背景・意義

- 1 地球温暖化のメカニズム
- 2 地球温暖化の影響
- 3 地球温暖化防止に向けた国際的な動向
- 4 地球温暖化防止に向けた我が国の取組
- 5 上田市におけるこれまでの地球温暖化対策

第3章 上田市の地域特性

- 1 地勢
- 2 人口・世帯数
- 3 産業構造
- 4 土地利用
- 5 交通

第4章 温室効果ガス排出量と削減目標

- 1 温室効果ガス排出量の現状
- 2 再生可能エネルギーの導入状況
- 3 森林整備・保全等に伴う二酸化炭素吸収量の推移
- 4 上田市の目指す将来像（脱炭素ビジョン）
- 5 温室効果ガスの削減目標

第5章 地球温暖化対策の方針・施策

- 1 重点プロジェクト
- 2 緩和策（温室効果ガスの排出削減）
- 3 適応策（気候変動による影響への対処）

第6章 計画の推進体制と進行管理

- 1 計画の推進体制
- 2 計画の進捗管理